

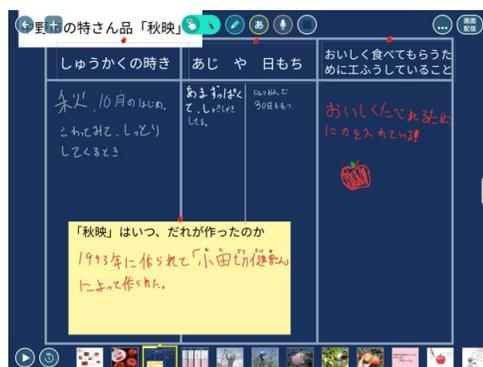
## ロイノート・スクール

学習支援アプリケーション「ロイノート・スクール」を活用することで、大幅に授業準備の時間を削減できるようになった。また、簡単にできることが増え、授業のバリエーション広がった。感覚的な操作が可能で、各発達段階に応じた活用ができる。シンプルで使いやすく、ICTが苦手な教員もスムーズに活用できるようになった。なお、教員と児童生徒ともに、iPadとApple pencilを一人一台配備し、それらの端末で使用している。

### (1)発表スライド(またはノート)の感覚的な作成

パワーポイントのような発表に向けたスライドをタッチで簡単に作成することができる。タイピングはもちろん、Apple pencilで書き込むことも可能。小学校低学年ではスライドに声を録音して流すことで書き込み作業を省くこともできる。撮った写真や動画の挿入も簡単。授業のノート代わりに也成为り、資料なども貼り付けやすいので重宝されている。作成したスライドは瞬時にPDF化することもできる。また、授業の記録をスライドに書き込んでいくことで、単元末にそれらを繋げるだけで発表資料とすることができる。発表のための準備時間を削減できるだけでなく、子どもたちの意図に合わせて感覚的に作成できるので、表現力の向上を実感することができた。また、シンキングツールシートが備わっており、場面に応じて活用できるのも子どもの思考力を育む助けとなっている。

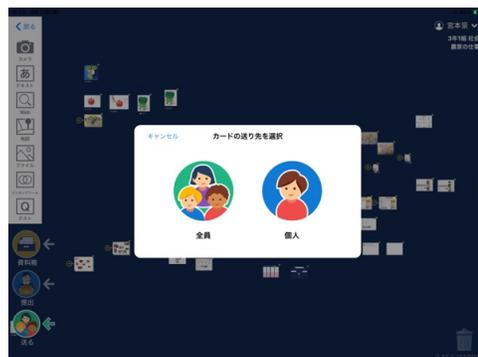
実践例) 小学部6年生社会科「情報産業とわたしたちの暮らし」 ⇨ ニュース番組作り  
 中学部1年生国語科「情報を整理して書こう」 ⇨ シンキングツールを含めた発表スライド作り など



どの機能も分かり易く、子どもたちが慣れるのも早い

### (2)ファイルやデータの受け渡しもラクラク

授業で使用するワークシートを印刷して配布する。こうした手間も省くことができる。PDF化したワークシートは、指を動かして「送る」というアイコンにカーソルを合わせるだけで児童生徒全員に配布される。PDFだけでなく、WEBサイトのリンクや画像、動画など資料をデータ上で配布することで、多くの資料を有効活用することができる。子ども同士も互いに資料を送り合うことが可能で、グループワークにおいても活躍する。



写真や動画などの資料もクラス全員に一括送信できる

### (3) 友達の考えと比較して考える

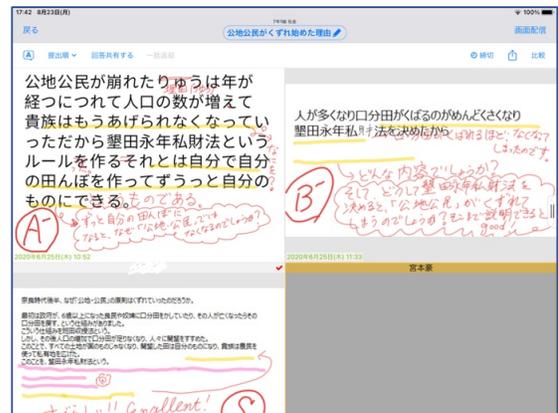
子どもの考えが記されたスライドを教員に提出させることで、それらを比較し、表示することができる。表示されたスライドを拡大したり、赤で書き込んだりすることができるので、共通点や差異点などに注目し易い。算数の図形の面積の求め方や、かけ算の使い方など、比較することでそれぞれの性質や利点に、子どもがよく気が付くことができていた。



道徳の授業においても最初と最後の意見の変化を比較したり、一斉に全員の考えを表示して見比べたりすることで、短時間で多様な意見に触れる場を設定することができた。

### (4) 提出・返却で個別に対応・到達度を把握

課題やテストなどを配布し、提出させることができる。丸付けやコメントを付けて返却することができるので、紙媒体のノートと同様の対応ができる。テストなどは評価し、ポートフォリオとしてまとめることも可能。子どもが教員の机に出しに行く必要もなく、補助カードを添付して返却することもできるので、効率的且つ個々にしっかり対応することができる。普段自分からなかなか質問できない子どももロイロノート上では、質問メッセージを書いて送ってくることが多い。



### (5) 家庭学習や長期休業の課題として

本校では児童生徒の iPad の貸出しや持ち帰りを許可している。そのため、家庭学習をロイロノートで提出させたり、課題を送ったりすることが可能である。長期休業中に提出日を設け、学校再開前に返却させることで、間違えた部分を指摘し、復習するところまで行える。体育や音楽などにおいては実技を動画で撮影して提出させたり、見本動画をこちらから送ったりすることができる。学校だけでなく、家庭における学習の幅を広げることができた。



## 実践成果

ロイロノート・スクールを導入し始めた当時は、主に中学部や小学部高学年で活用していたが、シンプルで感覚的な操作から、小学部低学年に使わせても問題なかった。むしろ予想以上に使いこなし、現在では教員よりも使い方を熟知している。

成果として著しいのは、子どもの表現力の向上であった。自分で書いた文字やイラストだけでなく、写真や動画、音声やインターネットなど、活用できる選択肢が多く、自分のまとめたいようにまとめることができるのが、その理由の一つと考える。普段発表が苦手な児童生徒も、自分でスライドをまとめ、大型モニターに投影しながら堂々と発表することができた。また、シンキングツールや比較表示機能などの活用により、子どもの思考が整理され、深まりやすい環境をつくることができた。

一方で、教員側にもたらすメリットも大きい。教材準備や提出物の管理もロイロノート・スクールでできるため、時間や手間を大きく削減することができた。また、教員がやりたいことを具現化できる機能が多いため、授業内容の幅も大きく広げることができた。

GIGA スクール構想による一人一台端末が整うことで、これまでの学校での活動が大きく変わる。新しいスタイルに最初は戸惑うことも多いが、しっかり活用することで、その良さや課題に気付くことができる。そして、それらによる恩恵は、子どもにとっても大人にとっても大変大きいものであると実感できた。